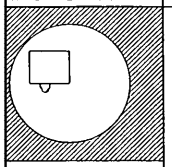
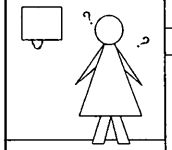
現　象		考えられる原因	処　置　方　法
人がいないのに点灯している。		電源を「オン」にした。	電源を「オン」にした直後はランプが点灯⇔消灯します。約１分後に設定モードで動作します。
	夜	検知エリア内に木や水面などがある。	人以外の熱源を検知しセンサーが動作することがあります。 検知範囲を調整するか熱源を取り除いてください。
		検知エリア内にペットなどの動物がいる。	
		検知エリア内に雨が入っている。	
		車の通りが激しい。	検知エリア内に道路などがあると車などに反応します。 検知範囲の調整をしてください。
検知エリアに人がいるのにランプが消えた。 	夜	検知エリア内で動かなかった。	検知エリア内にいても動きがない場合にはセンサーが反応しません。動くとランプが点灯します。
		ランプが切れた。	壁スイッチ（電源）をオフしてから新しいランプに交換してください。
		周りが明るくなった。	周りが明るくなると消灯します。

■お手入れのしかた

⚠ 注意　お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

■器具はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
このとき、ぬれた手でソケット部分にふれないでください。（メッキ部分は乾いた布でふいてください。）
■ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

■器具に直接水をかけて洗わないでください。
器具の破損・落下・感電などの原因となります。
■ランプは水洗いしないでください。
ランプ破損によるけがや故障・感電の原因となります。

⚠ 注意

■器具やセンサーをいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
■金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。
傷つけたり腐食の原因となります。

保証について

○保証期間は、商品お買上げ日より１年間です。
ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は３年間です。
※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせて頂きます。
※２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。

○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理とさせて頂きます。

○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

1. お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
2. 施工上の不備に起因する故障や不具合
3. 使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4. 車両、船舶などに搭載された場合に生じる故障および損傷
5. 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障および損傷
6. 日本国内以外での使用による故障及び損傷
7. 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき

1. 保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

○補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低６年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

○アフターサービスについてご不明な点（修理・取扱いのご相談）はお買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合は、

- 修理のお問合わせは、修理窓口へ
フロントセンター東京　☎(03)3424-1111　東京都世田谷区池尻3-10-3
フロントセンター名古屋　☎(052)721-0131　名古屋市東区矢田南5-1-14
フロントセンター関西　☎(06)6454-3901　大阪市北区大淀中1-4-13
- その他のお問合わせは、ご相談窓口へ
お客さま相談センター（フリーダイヤル）
☎0120-139-365　東京都世田谷区池尻3-10-3

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2727
(開発営業課)

MITSUBISHI

E761Z518H50

三菱蛍光灯器具

蛍光灯ブラケット

形名 WLF5061EL
WLF5071EL

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの取扱説明書を使用者さまにお渡しください。

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

お客さまへ
ご使用前に、正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

お客様へ　●この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様・お客様へ　器具取り付けの際のご注意

人感センサー付照明器具

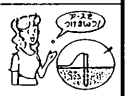
- センサーが人の動きを検知して自動的に点灯する機能を持っています。
- 照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
- 点灯時間設定『180秒』『60秒』『30秒』が選べます。

事前にご確認ください（２ページの「■器具を取り付ける前に」をご確認ください。）

- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
- 調光器のついている回路ではご使用になれません。
- １つの壁スイッチには１台でご使用ください。
（１つの壁スイッチで２台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）
- センサーの動作が多く、ランプの点滅が多い場所（トイレや人通りの多い場所など）に使用しますとランプの短寿命の原因となります。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、取扱説明書に従い行ってください。
取り付けに不備がありますと、落下・感電・火災等の原因となります。

取り付け
- 必ずアースを取り付けてください。
アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
（アースは法により D種接地工事が必要です。）
アース工事

- ランプに直接水をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。
ランプの破損によるけがや感電・火災の原因となります。
- この器具は、壁面の丈夫なところに取り付けてください。薄い壁面・弱い壁面等に取り付けますと、ねじ止めが弱く落下の原因となります。
取り付け
- 照明器具及びセンサー部分を分解や改造したり、部品を変更しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。

改造
- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。
火災等の原因となります。

可燃物

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 交流100V（±６V）以外の電圧で使用しないでください。
過電圧を加えるとランプ・器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。
電源電圧
- 塩害地や湿気の多い場所では使用しないでください。
部品の腐食や結露の原因となります。
- 振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しないでください。器具破損の原因となります。
- 風の強い場所には取り付けないでください。
落下の原因となります。
- 調光器による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でこの器具をご使用になりますと器具やランプが短寿命となります。
- 器具取付面に凹凸（タイル貼りなど）がある場合には、必ず木台を使用するか取付面を平面にし電源穴を内側よりコーキングして器具を取り付けてください。
防水
- この器具は５～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。
- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。
やけどの原因となります。
接触禁止

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。
感電の原因となります。
電源を切って

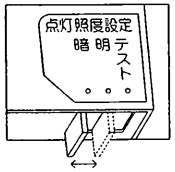
- ランプ交換の際は、必ず器具に表示されているランプの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。
間違った種類、ワット(W)数のランプをご使用の場合は、過熱により器具が変形・変色したり火災の原因となります。

■設定方法

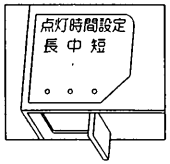
センサー側面の点灯設定スイッチを調整することにより点灯時間を切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。

点灯時間設定『短』

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。



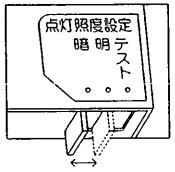
2．センサー「点灯時間設定」のスイッチを「短」に設定してください。



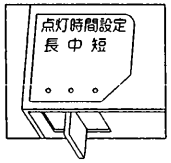
※壁スイッチをONにした直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

点灯時間設定『中』

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。



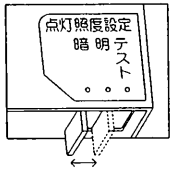
2．センサー「点灯時間設定」のスイッチを「中」に設定してください。



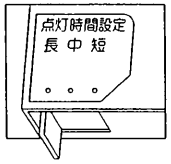
※壁スイッチをONにした直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

点灯時間設定『長』

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。



2．センサー「点灯時間設定」のスイッチを「長」に設定してください。

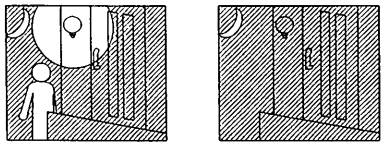


※壁スイッチをONにした直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

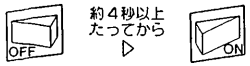
連続点灯

壁スイッチを操作すると周囲の明るさ、人の検知に関係なく点灯させておくことができます。

1．壁スイッチを一度OFFさせて　2．すばやくONにする



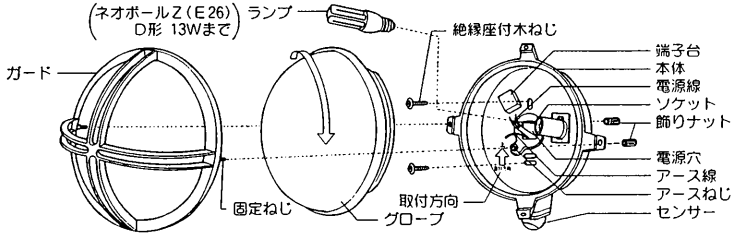
連続点灯を解除する時又は、連続点灯中にセンサー待機状態に切り替える場合は、OFFにして４秒以上たってからONにする。

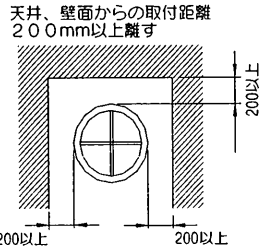


※「オン」直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。約１分後に設定モードで動作します。

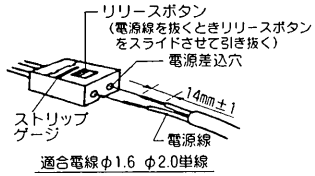
■器具の取りつけかた

防雨形



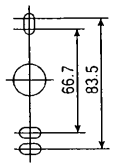


下側はなにも無いようにしてください
センサーの検知エリアに影響します



図－１　端子台

本体取付ピッチ



1．器具を取り付ける前に、飾りナット（２個）をはずし、本体からガードをはずしてください。グローブを回して本体からはずしてください。
2．本体を取り付けてください。
本体の中央電源穴に電源線とアース線を通してから、本体内面の取付方向に従って付属の絶縁座付木ねじ（２本）で本体を取付面にしっかりと取り付けてください。

⚠警　告
器具の取り付けには方向性があります。
本体表示に従い行ってください。
指定方向以外の取り付けを行うと、落下・感電・火災の原因となります。

⚠警　告
落下してけが・感電・火災のおそれあり
指定の方向以外の取付禁止
⬆
矢印を上にして取付

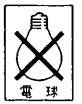
⚠警　告
取り付けの際は取付面の凹凸を調べて平滑な所に取り付けてください。
また、電源穴を内側よりコーキングしてください。造営物によっては、ボリ台・木台を使用してください。取り付けが不十分ですと、湿気・水気の侵入による絶縁不良・感電の原因となります。

3．電源線を結線してください。
端子台のストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、電源差込穴に奥まで差し込んでください。（図－１）

⚠警　告　感電・焼損・火災の原因となります。
- 電源線がランプにあたらない様、壁側へ押し込んでください。

⚠警　告　感電・発熱・焼損・火災の原因となります。
- 電源線皮むき寸法は14mm±1mmで、垂直にカットしてください。
- 結線は電源線を確実に奥まで差し込んでください。
- 電源線はまっすぐなφ1.6mm、2.0mm銅単線を使用してください。
- 曲がった電源及び、より線は使用しないでください。
- 電源線結線及び器具施工の際は電源線をねじったり回したりしないでください。

4．アース線をアースねじに接続してください。
5．ランプ（ネオボールZ（E26）D形 13Wまで）をソケットに取り付けてください。
6．グローブを回して本体にしっかりと固定してください。
7．ガードの固定ねじを本体の穴に合わせて、飾りナット（２個）でしっかりと締め込んでください。
8．必要に応じて検知エリアを調整してください。



——テストモード　4ページ

⚠警　告
器具の取り付けは確実に行ってください。
取り付けが不十分ですと、落下・感電・火災等の原因となります。

⚠警　告
ランプはネオボールZ（E26）D形 13Wまで 以外使用しないでください。
変形・変色・火災の原因となります。

- ネオボールは点灯後約20分間は明るさや光色が若干変化します。

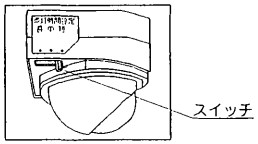
仕　様

定格電圧	入力電流	消費電力	適合ランプ
100V	0.22A	13W	EFD15EL/13(E26)

■センサーの名称

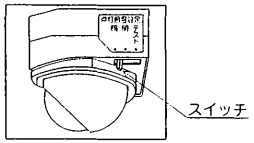
センサー側面の動作設定スイッチを調整することにより３つのモードに切り替えることができます。

点灯設定スイッチ



●出荷時は『短』に設定してあります。

点灯照度スイッチ



●出荷時は『暗』に設定してあります。

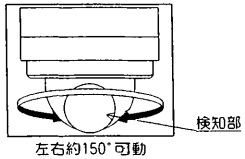
設置後検知エリアを決める。　テストモード

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「テスト」に合わせます。

■周囲が明るい時でも、人を検知するたび、約５秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。

2．壁スイッチを「オン」にします。
※どのモードでも「オン」直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。約１分後に設定モードで動作します。

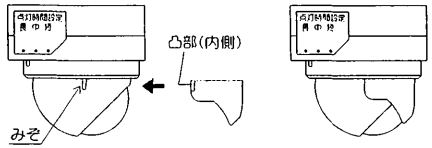
3．センサーの検知部を動かして位置を決めてください。



検知部は左右約150°回転します。
検知エリア内に道路などがある場合には、エリアカットマスクを取り付けて検知範囲を調整してください。

エリアカットマスクの取付方法

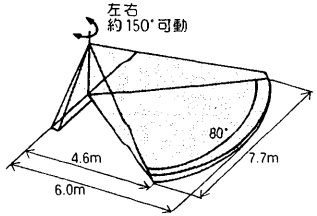
エリアカットマスク内側の凸部をセンサー受光部側面にあるみぞにはめてください。



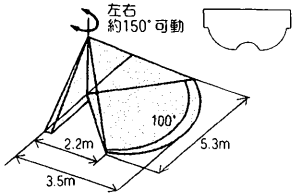
エリアカットマスクを取り付けることにより検知エリアを狭くすることができます。

センサーの検知範囲

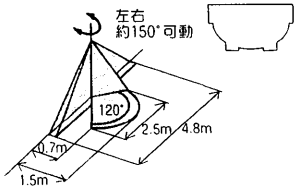
●エリアカットマスク無し
（取り付け高さ2.0m）



●エリアカットマスクＡ使用時
（取り付け高さ2.0m）

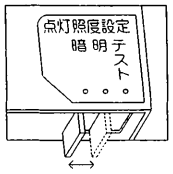


●エリアカットマスクＢ使用時
（取り付け高さ2.0m）



（ご注意）　検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
（特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。）

4．点灯させる周囲の明るさを選択します。
「暗」　約15ルクスから点灯します。（目安：陽が沈んだころ）
「明」　約45ルクスから点灯します。（目安：陽が沈みかけたころ）
点灯照度は器具を取り付けられる周囲の明るさによって調整してください。



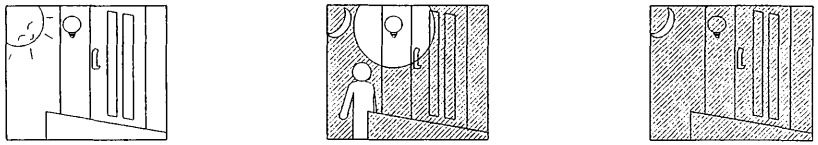
設定方法に進んでください。

ページ６へ

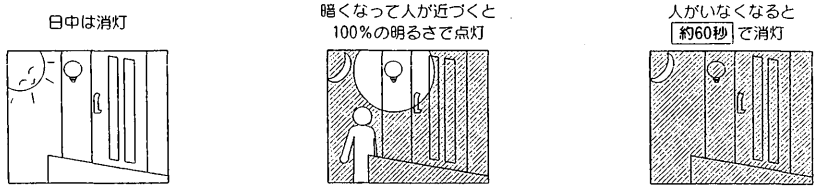
■センサー機能について

センサー側面の点灯設定スイッチを調整することにより点灯時間を切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。（設定方法は「６ページJ）

点灯時間設定『短』



点灯時間設定『中』

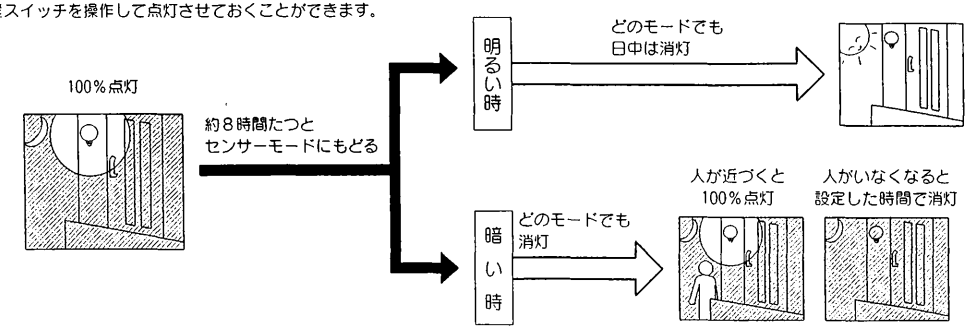


点灯時間設定『長』

連続点灯

人がいなくてもずっと点灯してほしい

壁スイッチを操作して点灯させておくことができます。

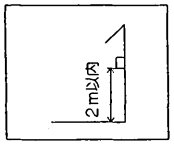


■器具を取り付ける前に

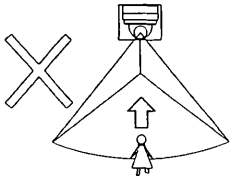
■器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。
■１つの壁スイッチには１台でご使用ください。（１つの壁スイッチで２台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）

検知エリアを考慮して設置してください。

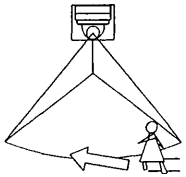
●高さ２m以内に設置してください。



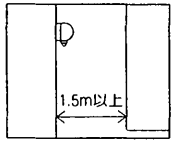
●センサー正面に向かって人が近づく様な位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



●センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



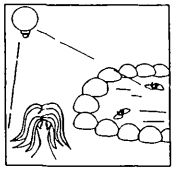
●器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁等1.5m以上離して取り付けるかもしくはセンサーの方向を調整してください。



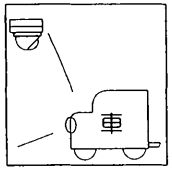
■雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

■次のような場所には取り付けないでください。（検知しなかったり、誤動作、故障の原因となります。）

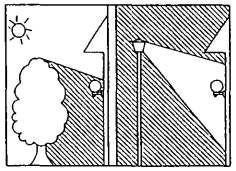
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。



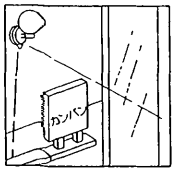
車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。



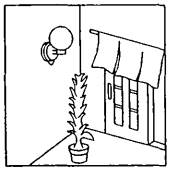
昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。
●取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。壁スイッチを設置してください。



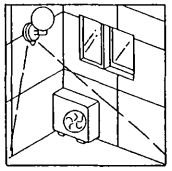
前面に障害物のある場所。
（透明なガラスでも遮断されます。）



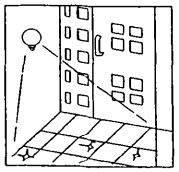
風などでよくゆれるのれんや、植物などがある場所。



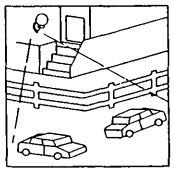
エアコンの吹き出し口の近く。
吹き出し口に対向する場所。



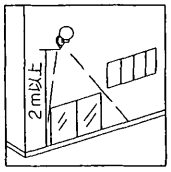
大理石など反射の強い床面のある場所。



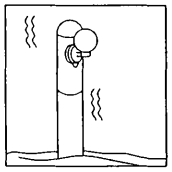
検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



取付高さが２m以上になる場所。

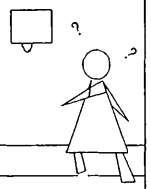


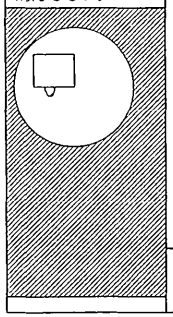
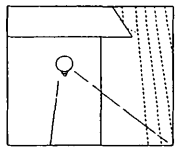
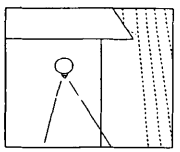
振動の激しいポールなど、不安定な場所。



■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現象		考えられる原因	処置方法
人が近づいても点灯しない。 	夜	ランプが切れている。	壁スイッチ（電源）を切ってから新しいランプに交換してください。
		壁スイッチ（電源）がオフになっている。	壁スイッチをオンにしてください。
		センサーの表面が汚れている。	柔らかい布で汚れをおとしてください。
		厚手の服を着ている。	センサーは熱に反応するため厚手の服に体温が閉じ込められ反応しない場合があります。
		センサーに周りの照明器具の光が入っている。	センサーの検知部に他照明の光が入らないようにしてください。
		器具に向かってまっすぐ進んでいる。	センサー正面に向かって近づくと検知しにくい場合があります。 センサーの検知部を少しずらしてください。
		電源配線（接続）が正しく行われていない。	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください。
		壁スイッチ（電源）が故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください。
		センサーが故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に修理又は交換依頼してください。
		タイマー回路等に接続している。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
	夕方	点灯照度スイッチが「暗」になっている。	暗くならないと点灯（動作）しないようになっています。

点灯したままで消灯しない。 			
	夜	連続点灯モードになっている。 「6ページ」をご参照ください。	壁スイッチを「オフ」にして４秒以上たってから「オン」にしてください。
		激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。
		検知エリア内に雨が入っている。 	検知部を回転させ調整するかエリアカットマスクでエリアを狭くしてください。 「4ページ」をご参照ください。 
	昼	昼間でも周囲が暗い。 「4ページ」をご参照ください。	昼間でも周囲が暗い場合はセンサーが夜と認識して点灯することがあります。